



令和3年2月17日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel : 03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

AJ-CORE (Africa-Japan Collaborative Research) 「環境科学」分野における新規課題の決定について

JST（理事長 濱口 道成）は、国際科学技術共同研究推進事業 戦略的国際共同研究プログラム（SICORP）AJ-CORE (Africa-Japan Collaborative Research)「環境科学」分野において新規課題を決定しました（別紙1）。

このたびJSTは、南アフリカ国立研究財団およびScience Granting Councils Initiative (SGCI)^注に参加するアフリカ諸国の研究支援機関と共同で、「環境科学」分野の共同研究課題を募集しました（別紙2）。

12件の応募があり、参加国の専門家の評価、研究支援機関による協議により選定された4件の採択を決定しました（別紙3）。研究実施期間は3年間を予定しています。

JST 戦略的国際共同研究プログラム（SICORP）のうち、多国間の国際共同研究を推進するプログラムの1つである「AJ-CORE」は、日本、南アフリカおよびアフリカ諸国（Science Granting Councils Initiative参加15カ国）の研究者による3カ国以上による国際共同研究により、双方の持続的発展と成長に向けてSDGsなどを中心としたグローバル・地域共通課題の解決に資する国際研究協力推進を強化することを目的としたプログラムです。

URL <https://www.jst.go.jp/inter/program/multilateral/aj-core.html>

注) サブサハラ地域15カ国の研究支援機関間の協働により研究開発力、研究管理方法および技術移転などの強化・改善を目的とする活動。

URL <https://sgciafrica.org/en-za/home>

<添付資料>

別紙1 : AJ-CORE 「環境科学」分野 採択課題一覧

別紙2 : AJ-CORE 参加国および研究支援機関一覧

別紙3 : AJ-CORE 日本側評価委員一覧

参 考 : AJ-CORE 募集概要

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 国際部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

佐藤 正樹（サトウ マサキ）

Tel : 03-5214-7375 Fax : 03-5214-7379

E-mail : [jointza\[at\]jst.go.jp](mailto:jointza@jst.go.jp)

A J-CORE 「環境科学」分野 採択課題一覧

共同研究課題		研究代表者・所属・役職	共同研究課題概要
1	アフリカにおけるフィールド及びメカニズムベースの農薬の毒性学的研究	日本 石塚 真由美 教授 北海道大学 大学院獣医学研究院	本研究では、アフリカで喫緊の課題となっている農薬に焦点を当てて研究を行う。南アフリカ、ザンビア、ガーナからヒト/動物/環境試料を収集し、現場での農薬の毒性をメカニズムベースで解明する。アフリカにおける農薬の毒性効果を体系的に把握する初の国際調査である。
		南アフリカ ビクター・ウェペンナー 教授 ノースウェスト大学 生物学部	
		ガーナ オセイ・アコット 講師 クワメエンクルマ科学技術大学 理学部	
		ザンビア ジョン・ヤベ 講師 ザンビア大学 獣医学部	
2	持続可能な水、エネルギー、生活、生態系保全のためのカリバ湖集水環境の評価	日本 内田 義崇 准教授 北海道大学 大学院農学研究院	本研究は、アフリカ南部に位置するカリバ湖を中心とした「カリバ集水域（CKC）」における水資源の複雑な利用、生態系の健全性、周辺住民の生活への影響を学際的に調査・評価することを目的とする。これを通じて、CKCにおける持続的なエネルギー利用、流域に暮らす住民の安定的な生活、生態系の持続可能性について検討する。
		南アフリカ ルーク・チムカ 教授 ウィットウォーターズランド大学 化学科	
		ザンビア イマシク・ニャンベ 教授 ザンビア大学 地質学科	

共同研究課題	研究代表者・所属・役職	共同研究課題概要
<p>3</p> <p>西アフリカにおける食と生計のレジリエンス向上のための未利用植物種に関する研究</p>	<p>日本 ガスパトス・アレクサンドロス 准教授 東京大学 未来ビジョン研究センター</p> <p>南アフリカ シェイク・ムボウ 教授、部長 プレトリア大学 フューチャー・アフリカ</p> <p>ブルキナファソ アジマ・チオビアーノ 教授 ワガドゥグー大学 植物生物学・植物生理学部</p> <p>セネガル メイム・サンバ・エムバイエ 教授、学部長 シェイク・アンタ・ジョップ大学 植物生物学部</p>	<p>アフリカの気候変動や環境悪化に際し、持続可能な生活、十分な栄養、食料安全保障を確保するためには、多様な食料や原料の持続可能な利用が必要である。本研究は西アフリカにおいて、まだ注目されていない、あるいは利用されていない植物種を調査し、気候変動に対する強さや農業生物多様性の保全を支援する可能性を検討する。</p>
<p>4</p> <p>アフリカの多様な環境における農業気候リスク管理のためのレジリエントなファームの開発</p>	<p>日本 坪 充 教授 鳥取大学 乾燥地研究センター</p> <p>南アフリカ モヘレ・モレチィ 農業気象研究チームマネージャー 農業研究機構 土壌・気候・水部門</p> <p>セネガル グウルベルト・ドレゴ 農業生物気候研究室長 セネガル農業研究所 国立栽培研究センター</p>	<p>本研究では、乾燥地における現在および将来の気候の季節性に対する作物の応答を理解するため、学際的な研究を行う。農地の脆弱性評価と気候変動の影響評価に基づいた干ばつ緩和戦略とともに気候リスク管理のための意思決定支援システムの開発を目指す。</p>

AJ-CORE 参加国および研究支援機関一覧

AJ-CORE参加国は、日本、南アフリカ、Science Granting Councils Initiative (SGCI) 加盟国（ボツワナ、ブルキナファソ、コートジボワール、エチオピア、ガーナ、ケニヤ、マラウイ、モザンビーク、ナミビア、ルワンダ、セネガル、タンザニア、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエ）です。

本公募における支援を表明した研究支援機関は以下の通りです。

国名	研究支援機関名
日本	Japan Science and Technology Agency (JST、科学技術振興機構)
南アフリカ	National Research Foundation (NRF、国立研究財団)
ブルキナファソ	Fonds National de la Recherche et de l'Innovation Pour le Développement (FONRID)
セネガル	Direction du financement de la Recherche scientifique et du Développement Technologique (DFRSDT)

A J-CORE 日本側評価委員一覧

氏名	所属・役職	備考
梅津 千恵子	京都大学 大学院農学研究科 教授	研究主幹
荒木 茂	京都大学 名誉教授	アドバイザー
伊藤 香純	名古屋大学 農学国際教育研究センター 准教授	アドバイザー
小原 聡	株式会社エコトリビュート 代表取締役	アドバイザー
佐藤 千鶴子	日本貿易振興機構 アジア経済研究所 地域研究センター アフリカ研究グループ 研究員	アドバイザー
島田 周平	名古屋外国語大学 世界共生学部 教授	アドバイザー
椿 進	AAIC Holdings, Pte. Ltd. 代表取締役	アドバイザー
舟川 晋也	京都大学 地球環境学堂 教授	アドバイザー
船水 尚行	室蘭工業大学 理事・副学長	アドバイザー
松村 幸彦	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授	アドバイザー
門司 和彦	長崎大学 大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科 教授	アドバイザー
谷田貝 亜紀代	弘前大学 大学院理工学研究科 教授	アドバイザー

A J - C O R E 募集概要

(1) 募集要件

公募参加国間のうち日本、南アフリカを含め3ヵ国以上の共同研究

(2) 応募資格（日本側）

日本国内の大学や研究機関、企業などで研究に従事している研究者

(3) 研究実施期間

2021年4月より3年間

(4) 研究予算額（JST側）

1課題あたり、総額として上限1,800万円（直接経費の30パーセントの間接経費を含む）を上限とする。

(5) 評価方法

日本および南アフリカ、ブルキナファソ、セネガルの各国における専門家による評価
および支援機関による協議

(6) 評価基準（JST側）

- 1) 提案研究領域の公募領域との一致性
- 2) 期待される共同研究／開発の成果
- 3) 国際共同研究による相乗効果
- 4) 期待される経済／社会的な波及効果
- 5) 協働関係の継続／発展可能性
- 6) 提案共同研究の実現性（計画、参加者、資金・施設、協力体制、予算配分）

以上